

近畿日本鉄道 鉄軌道路線のご案内



近鉄グループホールディングス株式会社

〒543-8585 大阪市天王寺区上本町6-1-55

TEL. 06-6775-3445

企業情報サイト <https://www.kintetsu-g-hd.co.jp/>

Kintetsu Report

第114期 中間 事業活動のご報告

令和6年4月1日から令和6年9月30日まで



近鉄グループホールディングス株式会社

証券コード：9041



経営基盤の強化と将来を見据えた成長戦略により、
企業価値の持続的な向上を目指してまいります。



代表取締役会長

都司 尚



代表取締役社長

若井 敬

» ごあいさつ

平素は、当社グループの事業運営に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このほど、第114期事業年度における第2四半期まで（令和6年4月1日から令和6年9月30日まで）の業績がまとまりましたので、各事業における最近の取り組みなどと合わせて、ご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間においては、アフターコロナ

の旅客需要・消費需要の回復や、円安進行に伴うインバウンドの増加により、運輸業やホテル・レジャー業で増収増益となりました。

このような状況も踏まえ、株主様への利益還元之机をを拡充するべく、1株につき25円の間配当を実施させていただくこととしました。

» 今後の事業展開

当社グループを取り巻く経営環境は、物価や金利の上昇、人手不足の深刻化、海外での地政学リスクの高まりなど、大きく変化しています。本年度が最終年度となる「近鉄グループ中期経営計画2024」については、これまでにコスト構造の抜本的見直しや事業ポートフォリオの変革などを進めてきた結果、営業利益など4つの経営指標の目標すべてで達成の目処がつかしました。引き続き「事業リスク耐性の強化」、「財務健全性の回復」、「事業基盤の基礎固め」の総仕上げに取り組み、持続的な成長に向けての経営基盤の強化を図っているところです。

来年度からスタートする次期中期経営計画は、当社グループのあるべき姿・ありたい姿を再定義したうえで、これまで以上に長期的な視点を織り込みます。また、「事業基盤の拡充」と「収益力の拡大」に資する戦略や施策を具体化するとともに、「資本コストを重視した経営」や「サステナブルな経営」についての取組みを進化させた計画とし、より一層の企業価値向上を目指す方針です。

この計画を進めるうえでの喫緊の課題として、労働市場の急激な変化や深刻化する人手不足への対応が挙げられます。本年10月には、当社グループの人事・人材面での課題等に総合的に対応するための新たなグループ共通インフラとして、「株式会社近鉄HRパート

ナーズ」を組成いたしました。同社の活動を通じて、グループ全体のサステナブル経営を「人」の面からしっかり支えるとともに、新たなビジネス機会を探索してまいります。

加えて、当社グループが一層の成長を図るためには、沿線で地域の課題解決を目指した「まちづくり」を進めることはもちろん、事業領域や事業エリアを拡大していくことが欠かせません。その一環として、さらなる観光需要の高まりが期待される沖縄県を戦略的に重要な事業エリアと位置付け、沖縄本島北部に来年開業予定のテーマパーク「JUNGLIA」の開発・運営会社に出資しているほか、本年6月には沖縄のオリオンビール株式会社と資本業務提携を開始いたしました。今後は首都圏や海外などでも事業拡大を目指していく考えです。

また、いよいよ来年4月に開幕が迫った大阪・関西万博に向けては、万博への送客はもちろん、自治体等と連携した商品開発・プロモーション強化によって沿線観光地への誘客も図るなど、グループを挙げて需要の取込みに努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年12月



10月7日、奈良線・京都線ほかで、 新型一般車両がデビューしました

近畿日本鉄道では、新型一般車両を順次製造し、車両の更新を進めています。10月7日には、奈良線、京都線、橿原線および天理線で、新型一般車両の運行を開始しました。

新型車両の系列名は、「8A系」。新系列の一般車両は、2000年のシリーズ21以来、24年ぶりの登場です。ご利用いただくあらゆる方々にとって使いやすく、お客様と地球環境に優しい車両としました。2025年度には、大阪線、名古屋線、南大阪線においても新型一般車両の投入を予定しています。

これからも安全・安心・快適な鉄道輸送サービスを提供し、より身近に、親しみを持っていただける近鉄を目指してまいります。



▲ 近鉄奈良駅にて開催した出発式

新型一般車両の特徴



1 ベビーカー・大型荷物対応 スペース「やさしば」を設置

ベビーカーやキャリーバッグ・スーツケースなどの大型荷物をお持ちのお客様が周囲に気兼ねなく着席してお過ごしいただけるスペース「やさしば」を、車両中央の乗降扉付近に、1両あたり2か所設置しました。

キャリーバッグなどのキャスターのひとつを掛けて荷物を動きにくくするストッパーも設置。



2 L/Cシートを採用

ご利用状況に応じてロングシートとクロスシートを切り換えることができるL/Cシートを採用しました。1両のなかでロングシートとクロスシートを混在して配置することも可能です。



3 近鉄初※の 扉個別開閉スイッチ

夏期や冬期の車内保温のために、駅に長時間停車する際、お客様が個別に扉を開閉できるスイッチを設置しました。

※ケーブルカーを除く



左は新型車の吊り革。右は従来車の吊り革。

4 消費電力を約45%削減

新型のインバーター制御装置を採用することで、従来車両と比較して消費電力を約45%削減。環境にも配慮しました。

5 車内防犯カメラを設置

車内防犯対策として、車内防犯カメラを1両あたり4か所設置しました。

6 握りやすい吊り革

全体形状を従来の真円から、横長の楕円形にして手のひらの圧迫感を軽減しました。また、握る部位の断面形状は、力を分散させるように形を見直しました。

7 ツートンカラーの 外観デザイン

近鉄らしさのツートンカラーに新しさを盛り込んで、一般車両として日常に溶け込む品位のある赤色に仕上げました。



TOPICS 01 KIPSポイントサービスが、便利にお得にリニューアル

近 鉄グループホールディングスでは、近鉄グループの店舗・施設でご利用いただけるKIPSポイントサービスを展開しています。8月21日からは、お手持ちのスマートフォンでKIPSポイントの付与・利用等が行える「KIPSアプリ」をリリースしました。同時に、KIPSポイントの活用シーンを拡大するほか、「KIPSクレジットカード」のセキュリティ向上とデザインの刷新など、KIPSポイントサービスの内容をリニューアル。近鉄沿線でのポイント活動がさらに便利でお得になりました。

近鉄グループホールディングスは、これからもKIPSポイントサービスをお客様との接点とし、近鉄沿線を中心としたお客様の利便性向上を図ってまいります。



▲リニューアル後のKIPSクレジットカード（イメージ）



▲ KIPSアプリ 画面イメージ

KIPSアプリの主な機能・特徴

- スマートフォンでKIPSポイントの付与・利用
- ポイント残高・利用履歴の確認
- アプリ会員だけのお得なクーポンやキャンペーン情報の配信
- KIPSクレジットカードの登録によるカードレス決済
 - 対 象 店：近鉄百貨店、近商ストア
- 近鉄百貨店アプリとKIPSアプリの連携によるカードレス決済
 - 対 象 店：近鉄百貨店
 - 対象カード：近鉄クレジットカード（外商カード）、近鉄友の会会員証カード
- お手持ちのICOCA乗車で、KIPSポイントが貯まるサービスを開始しました。

TOPICS 02 台北大衆捷運股份有限公司（台北メトロ）と友好協定を締結

近 鉄グループホールディングスは、8月30日、台北大衆捷運股份有限公司（以下、台北メトロ）と相互送客や事業連携・協力に関する友好協定を締結しました。

2016年4月に台北支社を設置して以来、インバウンド観光客の誘致促進や台湾での事業機会の創出、現地企業との協力関係構築に努めてきました。さらに今回の友好協定締結により、台北メトロとの事業交流を一層深め、日本と台湾の観光情報の発信およびプロモーション活動の相互協力を通じて、観光交流人口の拡大や地域の活性化に寄与すべく、今後さまざまな取り組みを実践していきます。また、鉄道事業だけでなく、近鉄グループが展開する他の事業分野全般においても緊密な連携を図り、双方事業のさらなる発展を目指してまいります。



▲協定締結の様子（左：若井社長 中央：台北メトロ趙董事長 右：台北メトロ黄総経理）

TOPICS 03 大阪・関西万博シグネチャーパビリオンのラッピング電車『Dialogue Train』を運行

近 鉄グループホールディングスは、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）まで半年を迎えたことを機に、10月18日からラッピング電車『Dialogue Train』の運行を開始しました。この電車には、大阪・関西万博テーマ事業プロデューサーの一人で、奈良県出身の映画作家・河瀬直美氏が手掛けるシグネチャーパビリオン「Dialogue Theater -いのちのあかし-」のキービジュアル「吹き出しとスポットライト」がデザインされ、電車に乗ること自体がパビリオン体験の第一歩となる工夫を施しています。今後も近鉄グループでは、大阪・関西万博をより身近に感じていただけるよう、大阪・関西万博に向けた機運醸成に積極的に協力してまいります。



▲ラッピング電車「Dialogue Train」

TOPICS 04 志摩グリーンアドベンチャーがオープンしました

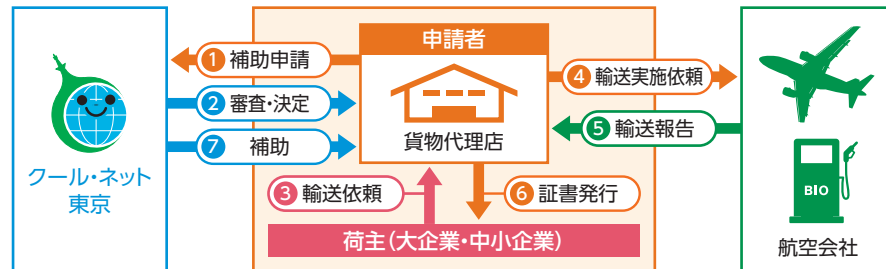
近 鉄不動産は、7月11日、アクティビティリゾート施設「志摩グリーンアドベンチャー」を開業しました。志摩グリーンアドベンチャーは、英虞湾の眺望と自然に恵まれたゴルフ場の環境をそのまま活かし、非日常空間で宿泊ができる「グランピングフィールド」と、大自然を満喫しながら身体を動かして遊ぶことができる「アトラクションフィールド」からなる施設です。開業日当日のオープニングイベントでは、地元の小学生たちとバルーンリリースを行い、グランドオープンをお祝いしました。今後、志摩エリアの魅力を発信する施設として、新たな楽しみをご提供し、志摩エリア全体の活性化に貢献してまいります。



▲オープニングイベントの様子

TOPICS 05 東京都「企業のScope3対応に向けた航空貨物輸送でのSAF活用促進事業」の助成対象事業者を選定

近 鉄エクスプレスは、8月5日、東京都が実施する『企業のScope3対応に向けた航空貨物輸送でのSAF活用促進事業』の助成対象事業者を選定されました。今回の事業は、同社のお客様である荷主企業が羽田・成田発着の航空貨物輸送においてSAFの環境価値を購入・利用し、同社発行のCO₂排出削減証書（第三者機関認証済）を受領することを前提に、通常の貨物輸送費用に追加で発生するSAF環境価値の費用が助成されるものです。これを機に、パートナーである航空会社とのさらなる協業を進め、我が国におけるSAFの利用拡大と社会の脱炭素化に一層貢献してまいります。



TOPICS 06 Time's Place公式マスコットキャラクターの「EXPG」監修オリジナルダンス動画を配信

近 鉄リレーリングは、EXILEをはじめとする人気アーティストやタレントが在籍中の「LDH JAPAN」が展開する総合エンタテインメントスクール「EXPG STUDIO」監修のもと、駅ナカショッピングモール「Time's Place（タイムズプレイス）」の公式マスコットキャラクター「えきにゃか」「たいむちゅ」のオリジナルダンス動画を7月12日から配信しています。「楽しく踊れて、親しみやすい」をコンセプトに、タイムズプレイスへの来館促進を目的に制作しました。今後も「えきにゃか」「たいむちゅ」は、皆様に愛されるマスコットキャラクターとして、さまざまなイベントで活躍していきます。

アクセスは
こちらから



えきにゃか&たいむちゅの「EXPG」監修オリジナルダンス動画を配信 ▶



TOPICS 07 大阪市内初出店の「カインズ」がandにオープン

近 鉄百貨店は、株式会社カインズとフランチャイズ契約を締結し、近鉄百貨店が運営する商業施設and 1・2階に、大阪市内初出店となる「カインズ あべのand店」を9月4日にオープンしました。「カインズ」は近鉄百貨店がフランチャイズ事業26業種目として新たに取り組む事業です。andでは春に食を中心とした改装を行っており、今回ホームセンターやインテリアショップなど暮らしに寄り添うショップを新規導入したことで、食とライフスタイル雑貨のワンストップショッピングが可能となりました。今後も近隣住民の上質な暮らしを支える商業施設としてさらなる魅力向上に取り組んでまいります。



▲「カインズ あべのand店」の様子

TOPICS 08 都リゾート 志摩 ベイサイドテラスを大規模リニューアルします

都 リゾート 志摩 ベイサイドテラスは、9月8日から12月20日までの期間、客室76室とレストランエリア、外壁の大規模リニューアル工事を実施しています。12月21日には、上質で居心地のよい客室、特別なひとときをお過ごしいただけるレストランエリア、英虞湾の青い海と空に映える白壁に生まれ変わって、全館リニューアルオープンを迎えます。8月28日からはリニューアル記念宿泊プランの販売も開始。この先も、お客様に一層ご満足いただけるおもてなしの空間をお届けしてまいります。



▲ホテル外観

TOPICS 09 志摩スペイン村で、『ポケモン』スペシャルイベントを開催

志 摩スペイン村では、6月29日から9月23日まで、スペシャルイベント「『ポケットモンスター スカーレット・バイオレット』ポケモン課外授業 in 志摩スペイン村」を開催しました。志摩スペイン村の雰囲気が同ゲーム内の冒険の舞台と似ていることから、志摩スペイン村30周年記念企画イベントとして開催。志摩スペイン村の園内風景を活かしたフォトスポット、周遊型ラリーやオリジナルメニューの販売など、志摩スペイン村ならではのイベントを大勢のお客様にお楽しみいただきました。



▲志摩スペイン村の園内風景を活かしたイベント



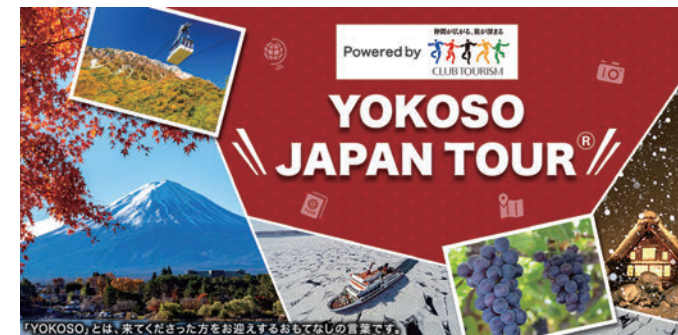
▲イベント期間中、大勢のお客様で賑わいました

©Pokémon. ©Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc. © SHIMA SPAIN VILLAGE CO.,LTD.

TOPICS 10 訪日客向けグローバルサイト「YOKOSO JAPAN TOUR®」を公開

ク ラブツーリズムは、9月11日、自社のウェブサイトを中国語(繁体字)と英語に対応させ、海外のお客様からの直接予約を可能とする訪日客向けグローバルサイト「YOKOSO JAPAN TOUR®」を公開しました。自社サイトを多言語化することで、年間1万超のコースを海外のお客様にご紹介できるようになりました。四季折々の全国各地の観光地、日本の歴史や文化を感じられるテーマ性のある旅など、世界中のお客様にクラブツーリズムの旅をお楽しみいただけるよう商品展開し、インバウンド誘致を強化してまいります。

※「YOKOSO JAPAN TOUR®」は、クラブツーリズム株式会社の日本および台湾・香港における登録商標です。



▲中国語(繁体字)と英語に対応

TOPICS 11 奈良交通、定期観光バス インバウンドコースを運行

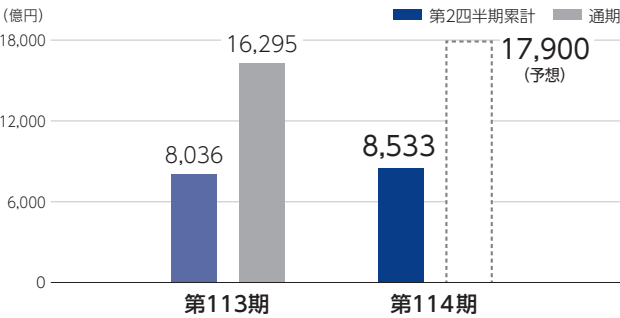
奈 良交通は、12月16日から2025年3月31日までの期間(月・水曜日<一部を除く>)、訪日外国人観光客向けに、定期観光バスのインバウンドコースを運行します。本コースでは、プロの通訳案内士がバスに添乗し、東大寺、春日大社、若草山山頂などを英語で案内します。また、春日大社で鹿みくじ(英語版)を引くなどの体験を通じて、一層充実した時間を過ごしていただける内容となっています。奈良交通は、これからも奈良県を訪れる外国人観光客の満足度向上を目指した取り組みを行ってまいります。



▲前回実施時のインバウンドコースの様子

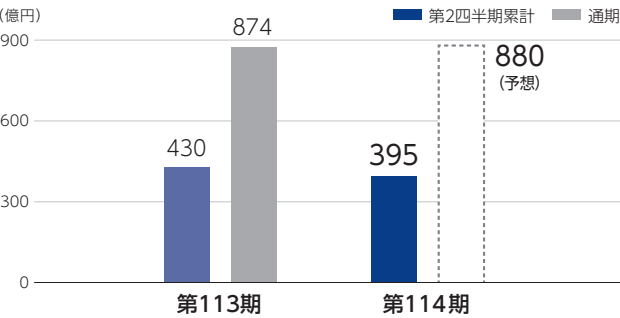
営業収益

運輸業やホテル・レジャー業が好調であったほか、国際物流業も取扱物量の増加と販売価格の上昇で増収となったため、不動産業などでの減収を差し引き、連結全体で増収となりました。



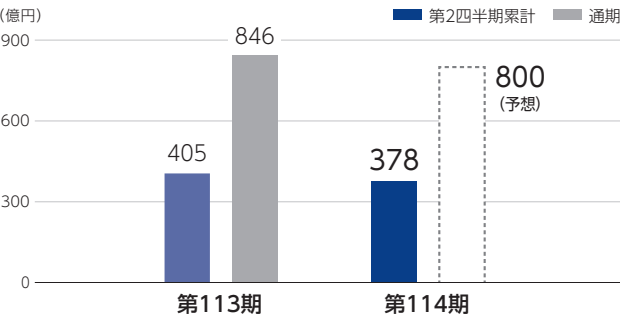
営業利益

不動産業での減益に加え、国際物流業で運賃原価の高騰により利益率が低下したこと等により、減益となりました。



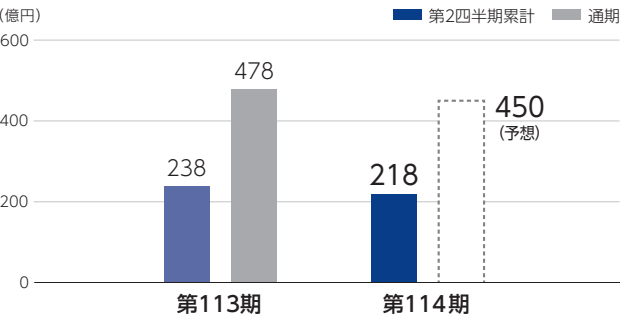
経常利益

営業外損益でシンジケートローン組成費用が減少しましたが、営業利益の減少が大きく、減益となりました。

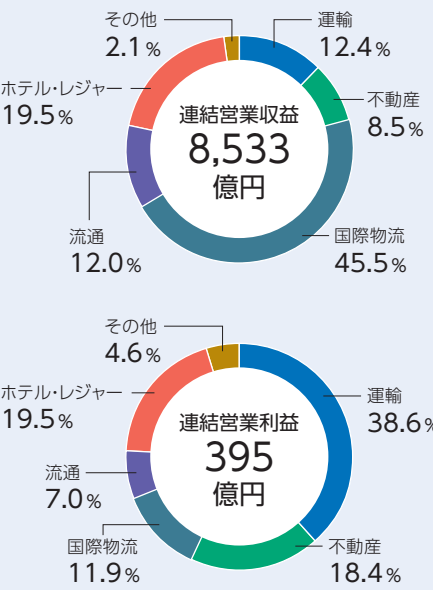


純利益

経常利益が減益となったため、減益となりました。
※第114期から「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号)等を適用しており、第113期の純利益の金額は当該会計基準等を遡って適用した後の金額となっております。



事業別の概況 (セグメント別構成比)



運輸 48社
(うち、連結子会社 22社)

鉄軌道部門で、好調なインバウンド需要に加え伊勢志摩等への観光需要も回復傾向にあり、さらに前年4月に実施した定期運賃改定の効果が本年は期首から寄与したため、増収増益となりました。

＜営業収益・営業利益＞

期	営業収益 (億円)	営業利益 (億円)
第113期 第2四半期	1,024	127
第114期 第2四半期	1,081	151

不動産 13社
(うち、連結子会社 5社)

不動産販売部門でマンション分譲戸数が減少したこと等により、減収減益となりました。

＜営業収益・営業利益＞

期	営業収益 (億円)	営業利益 (億円)
第113期 第2四半期	792	84
第114期 第2四半期	743	72

国際物流 131社
(うち、連結子会社 126社)

取扱物量の増加と販売価格の上昇が進んだものの、運賃原価の高騰により利益率が低下したため、増収減益となりました。

＜営業収益・営業利益＞

期	営業収益 (億円)	営業利益 (億円)
第113期 第2四半期	3,630	108
第114期 第2四半期	3,972	46

流通 13社
(うち、連結子会社 10社)

百貨店部門で、あべのハルカス近鉄本店は好調でしたが、前年の大口内装工事売上の反動減があったほか、ストア・飲食部門での一部店舗の建替えもあり、減収となったものの、百貨店部門での利益率改善等により、増益となりました。

＜営業収益・営業利益＞

期	営業収益 (億円)	営業利益 (億円)
第113期 第2四半期	1,054	23
第114期 第2四半期	1,051	27

ホテル・レジャー 35社
(うち、連結子会社 29社)

ホテル部門でインバウンド需要の増加等により宿泊利用が好調であったのに加え、旅行部門で需要が回復し、また、観光施設部門で志摩スペイン村の入場者数が増加したため、増収増益となりました。

＜営業収益・営業利益＞

期	営業収益 (億円)	営業利益 (億円)
第113期 第2四半期	1,549	67
第114期 第2四半期	1,701	76

※各事業の営業収益の金額には、セグメント間の内部売上高等が含まれております。
※各事業の会社数には非連結子会社および関連会社を含んでおりますが、営業収益には非連結子会社および関連

会社を含んでおりません。

会社概要

(令和6年9月30日現在)

設立 昭和19年6月（前身の奈良軌道株式会社は明治43年9月）
資本金 126,476百万円

役員

(令和6年9月30日現在)

代表取締役会長 都 司 尚
代表取締役社長 若 井 敬
取締役相談役 小 林 哲 也
取締役 専務執行役員 原 史 郎
専務執行役員 林 信
専務執行役員 松 本 昭 彦
取締役 常務執行役員 笠 松 宏 行
常務執行役員 上 田 尚 義
取締役（社外取締役）柳 正 憲
（社外取締役）片 山 登 志 子
（社外取締役）長 岡 孝
（社外取締役）三 笠 裕 司
監査役（常勤） 埴 田 均
中 村 哲 夫
監査役（社外監査役）前 田 雅 弘
（社外監査役）鈴 木 一 水
（社外監査役）井 上 美 智 子

株式の状況

(令和6年9月30日現在)

1. 発行可能株式総数 500,000,000 株
2. 発行済株式の総数 190,662,061 株
3. 株主数 238,970 名

株式事務のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 なお、中間配当を行う場合は、毎年9月30日を基準日といたします。
株主名簿管理人／ 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL. 0120-094-777(通話料無料) ※「郵送物の発送と返戻」、「支払期間経過後の配当金」 および「特別口座」につきましては、上記連絡先 にお問い合わせください。 特別口座に関する書類等につきましては、 下記の方法でもご請求いただけます。 ●インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufig.jp/daikou/
公告方法	電子公告 https://www.kintetsu-g-hd.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子 公告による公告をすることができない場合は、日本 経済新聞に掲載して行います。

株主優待のご案内

毎年3月31日、9月30日を基準日として、株主の皆様に対し、ご所有の株式数に応じて次のとおり優待を行っております。

乗車券、乗車証			
下表の基準により発行いたします。			
ご所有株式数	近畿日本鉄道線 沿線招待乗車券	株主優待 乗車券	株主優待乗車証
	近鉄電車全線 （葛城山ロープウェイを除く。） に1枚1人片道通用		持参人は誰でも利用でき、近鉄 電車全線（葛城山ロープウェイ を除く。）および近鉄バス全線 （一部路線を除く。）に通用
100株以上 1,000株未満	4枚	—	—
1,000株以上 2,000株未満	4枚	4枚	—
2,000株以上 3,000株未満	4枚	8枚	—
3,000株以上 4,000株未満	4枚	12枚	—
4,000株以上 5,100株未満	4枚	16枚	—
5,100株以上 15,000株未満	4枚	—	1枚
15,000株以上 30,000株未満	4枚	—	2枚
30,000株以上 50,000株未満	4枚	—	3枚
50,000株以上 100,000株未満	4枚	—	4枚
100,000株以上 1,000,000株未満	4枚	—	5枚
1,000,000株以上	4枚	—	10枚

※特急列車をご利用の場合は、別に特急券をお買い求めください。

株主様ご優待券

100株以上ご所有の株主様に対し、近鉄グループ施設などのご優待券を一律1冊交付いたします。

発送時期と有効期間

	3月31日現在の株主様		9月30日現在の株主様	
	発送時期	有効期間	発送時期	有効期間
近畿日本鉄道線沿線招待乗車券株主様ご優待券	6月下旬	到着後 12月31日まで	12月上旬	到着後 7月31日まで
株主優待乗車券	5月20日頃	到着後 11月30日まで	11月20日頃	到着後 5月31日まで
株主優待乗車証	5月20日頃	6月1日から 11月30日まで	11月20日頃	12月1日から 5月31日まで

※株主様ご優待券の有効期間は、ご優待によって上記と異なる場合がございます。

特別口座に当社株式をご所有の株主様へ

平成21年1月に実施された株券電子化に伴い、それまでに証券会社等に預託されなかった株式は、当社が三菱UFJ信託銀行株式会社に開設した「特別口座」において管理しております。**「特別口座」では、証券市場において株式を売買できないなどの制約があります**ので、次のお手続きをお勧めいたします。

①証券会社等の口座への振替

「特別口座」にご所有の株式を証券会社等に開設された口座に振り替えるお手続きです。なお、証券会社等に口座をお持ちでない場合は、あらかじめ証券会社等に口座を開設していただく必要があります。

②単元未満株式の買取請求

「特別口座」にご所有の単元未満株式を、市場価格にて当社に売却（買取請求）するお手続きです。

単元未満株式の買増請求・買取請求のご案内

■単元未満株式の買増し

株主様がご持ちの単元未満株式と併せて1単元（100株）となる数の株式を、当社が市場価格にて株主様に売却（株主様にとっては買増し）いたします。



■単元未満株式の買取り

株主様がご持ちの単元未満株式を、当社が市場価格にて買取りいたします。



〈お問い合わせ先〉

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL. 0120-094-777(通話料無料) ※特別口座に当社株式をご所有の株主様のマイナンバーのお届けにつき ましても、上記のお問い合わせ先にご連絡ください。 ※証券会社等の口座に単元未満株式をご所有の株主様は、お取引口座の ある証券会社等へお申し出ください。
--